

SSTの視点からの授業づくり

平成30年10月15日 富岡第一小学校研修会

地域支援センターさくら相談室

富岡支援学校 特別支援教育コーディネーター

加藤 良一

S S T（ソーシャルスキルトレーニング）とは？

人間が社会で生きていくのに
必要な技術を習得する練習



参考：「高機能自閉症・アスペルガー障害・ADHA・LDの子のSSTの進め方」
田中和代・岩佐亜紀著（黎明書房2008）

ソーシャルスキルとライフスキル

ソーシャルスキル

人間関係の築き方や**コミュニケーション**など他の人と関わる方法、**集団生活**のトラブルを減らす。

- ・友達との付き合い方
- ・適切な話し方
- ・集団行動でのふるまい方



参考：「発達障害の子のライフスキル・トレーニング」
梅永雄二監修（講談社2015）

ライフスキル

健康管理から対人関係まで、**生活面のスキルすべて。**

- ・食べる、眠るなどの基本的生活習慣
- ・生活環境の管理
- ・先の見通しをもって生活する



ソーシャルスキルとライフスキル

ライフスキル

1	身だしなみ	6	外出
2	健康管理	7	対人関係
3	住まい	8	余暇
4	金銭管理	9	地域参加
5	進路選択	10	法的な問題

ソーシャルスキル

ソーシャルスキルトレーニングのポイント



見通しが持ちづらい、イメージすることが苦手、



言語化

(ことばにする)



視覚化

(見えないものを見えるようにする)

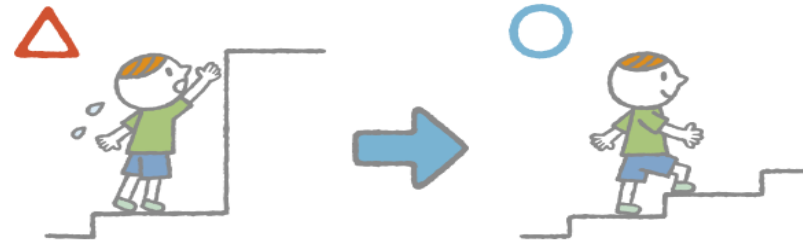


動作化

(実際にどう動くかやってみる)

ソーシャルスキルトレーニングの原則

原則 1 スモールステップ



原則 2 できたことをほめる



参考：ソーシャルストーリー



言語化
(ことばにする)

世の中の暗黙のルールや
コミュニケーションスキルを
平易な文章・
読み手の人格を肯定する文体
で書いたもの

- ・ 社会の仕組み
- ・ 分かっているもののとして誰も説明してくれないこと
- ・ 友人間、家庭内、学級・学校、部活の暗黙のルール

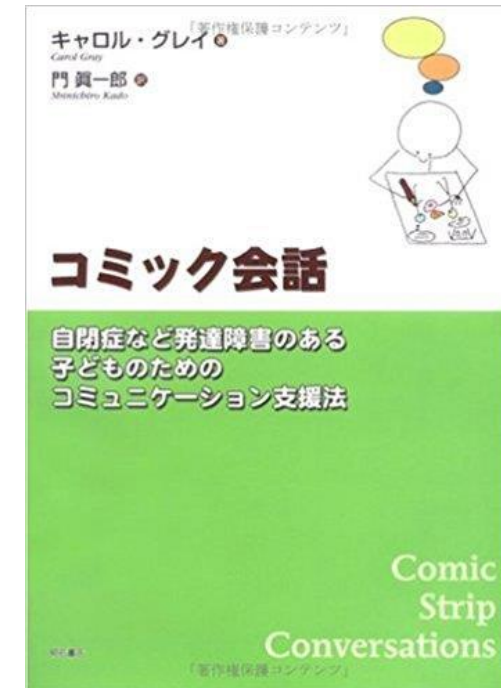


参考：コミック会話



言語化 (ことばにする)

- ・出来事の順番、登場人物の関係、発した言葉、気持ちなどが分かる。
- ・そもそもの原因を忘れない。



参考：気持ちメーター



視覚化

(見えないものを見えるようにする)

参考：カオのコントロール



言語化
(ことばにする)

参考：かわりばんこじょうずになろう (会話の仕方)



動作化

(実際にどう動くか
やってみる)

ソーシャルスキルトレーニングの 難しさ

▲役立つ場面が限定されがち

(教室の練習が般化できない、そもそも対人関係が苦手)

▲年齢ごとのアレンジが難しい

(幼少期の事例が多く、高校生や大人での例が少ない)

ソーシャルスキルトレーニングの 失敗例

▲トラブルへの指導になってしまう・・・

(自分のことを責めている、また怒られると感じる)

▲教室ではできるけど・・・

(実際場面とは別ものと捉える)

▲確かに大事だけど問題が解決しない

(一般的に大事なことを教えるがピンと来ない)

ソーシャルスキルトレーニング の視点からやりとり・授業を計画する

1 児童・生徒の困り感は何か？

2 具体的にどんな場面か？



3 どんな行動をすると良いか？

4 好きなこと・得意なことは何か？



5 興味をもって楽しく行う工夫？

6 どの時間にどんな計画で行うか？
(単元名、やりたくなるネーミング)

7 実際の場面でできるための工夫？

8 できたかどうかの確認方法？



実際にソーシャルスキルトレーニングを進める

1 インストラクション（導入）

- ・イラストなどで取り上げる場面を示す

2 モデリング

- ・教師が実際にやってみせる



3 ロールプレイ

- ・子どもが実際に練習する

4 コーチング

- ・その場で良い方法を具体的に示す

5 フィードバック

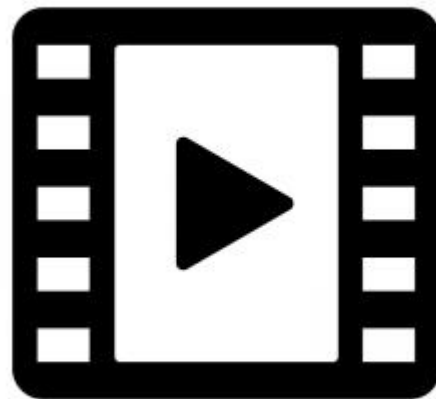
- ・ビデオや写真などで振り返る、自己評価



療育場面での S S T 年間計画例

引用：「S S T スタートブック」
藤野博・伴光明・森脇愛子（学苑社 2010）

本日の授業見学から



活動のルール・役割・スケジュール

児童同士のやりとりのモデル

ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する
例えば・・・

ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する
例えば・・・

1 児童・生徒の困り感は何か？

→今やることがわかりづらい。

机から物を落としてしまう。

2 具体的にどんな場面か？

→授業開始時の机上の状況

ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する

3 どんな行動をすると良いか？

→授業開始時に机上に、その時間
に使う物だけを出して待つことが
できる。

ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する

4 好きなこと・得意なことは何か？

→みんなと一緒にゲームは楽しい。

5 興味をもって楽しく行う工夫？

→ゲーム形式

ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する

6 どの時間にどんな計画で行うか？
(単元名
「じゅんびのたつじんになろう」)

グループワーク

問題「SSTの視点からやりとりや授業を考えましょう！」

1 対象児童または学習グループを決める。

(5分)

2 ワークシート（拡大版）に付箋を貼り意見を出し合う。

(20分)

3 発表と共有

(10分)



ソーシャルスキルトレーニング
の視点からやりとり・授業を計画する

7 実際の場面でできるための工夫？
→次回からの授業開始時

8 できたかどうかの確認方法？
→毎回、写真に撮って掲示する

ワークシート

ソーシャルスキルトレーニング（SST）の視点から やりとり・授業を考えるワークシート	
対象児童生徒または学習グループ ()	記入者 () 記入日 (平成30年 月 日)
1 児童生徒の困り感は何か？	2 具体的にどんな場面か？ (※)
3 どんな行動ができるようになって欲しいか？	
4 好きなこと・得意なことは何か？	
5 どの時間にどんな計画で行うか？ やりたくなるような単元名「 」	
7 実際の場面でできるための工夫	8 できたかどうかの確認方法？

ソーシャルスキルトレーニング の進め方

- 1 インストラクション（導入）
・イラストなどで取り上げる場面を示す
- 2 モデリング
・教師が実際にやって見せる

- 3 ロールプレイ
・子どもが実際に練習する
- 4 コーチング
・その場で良い方法を具体的に示す
- 5 フィードバック
・ビデオや写真などで振り返る、自己評価

